

日本標準時制定 135 周年記念事業の実施状況について

1 概要

日本標準時制定 135 周年記念事業については、コロナ禍にあっても、市民に明るい話題を提供し、まちへの愛着を高めるとともに、明石市の魅力を全国に発信することを目的として、感染防止の徹底を図るとともに、オンラインによる積極的な情報発信を行いました。

2 主な取り組み

1) プラネタリウム・特別展

イベント等においては、プラネタリウム番組「時報の出るまで」、特別展「たのしい時計展」を実施しました。

2) オンライン・イベント

YouTube によりオンラインによるイベントを実施しました。

① スーパームーン皆既月食中継 5月26日

天文科学館観測室より皆既月食の中継を行いました。



② 時の記念日ライブ配信 6月10日

CGデザイナー岡本晃氏制作の天文科学館変形ロボット「シゴセンオー」を「あかし時のまち大使」に任命し、CG合成した任命式の様子を動画配信しました。あわせて、時計学校の講師により機械式時計の組み立ての実演を配信しました。



③ 日本標準時 135 周年イベント 7月10日

日本標準時を発信する情報通信研究機構との連携による原子時計の交換展示紹介、シゴセンジャーが市内の子午線標識を巡る中継、東経 135 度子午線が通る各市や全国の子午線モニュメント、市民から募集した「135」にちなんだ写真、放送局や鉄道事業者の時間管理の紹介など 135 分のライブ配信を行いました。



3) 山陽電車とのコラボレーション事業(①・③・④は7月3日～9月30日に実施)

① コラボ列車シゴセンゴーの運行

135周年記念ロゴのヘッドマークや車内吊り、シゴセンオーのドア横ステッカーで装飾された列車を運行しています。

② シゴセンオーの人丸前駅名誉駅長就任

「あかし時のまち大使」シゴセンオーが7月2日に名誉駅長に就任し、人丸前駅に記念の看板を設置しました。



③ 「明石市立天文科学館きっぷ」発売

人丸前駅・山陽明石駅までの往復乗車券と天文科学館観覧券・オリジナルグッズ引換券がセットになったお得なきっぷを発売しています。

④ デジタルスタンプラリーの実施等

市内の日本標準時子午線のモニュメントをめぐるスマートフォンを利用したスタンプラリーを実施しています。その他、ぬり絵などの子どもたち向け企画を実施しています。

4) オリジナルグッズの作成

記念グッズとして、オリジナルロゴがデザインされたポロシャツ・エコバック・サコッシュ、135mm定規、キーケース、クリアボトルを制作しました。



3 今後の取り組み

前年度実施予定だったプラネタリウム投影機のオーバーホールについては、コロナ禍により延期となったため、今年の11月16日から12月19日の日程で行う予定です。

2年後の2023年はプラネタリウムが発明されて100年となることから、歴史あるプラネタリウムの魅力を通じて、日本全国・世界への発信につなげたいと考えています。

また、JAXAの協力により、小惑星探査機はやぶさ2の帰還カプセル実物を2022年(令和4年)1月21日から25日の5日間の日程で展示を行う予定です。

今後、万全の感染対策を行いながら、市民が、時や宇宙への関心を高め・学ぶ機会を提供するとともに、時のまち明石の積極的な発信に努めていきます。